

第 5 号様式（第 6 条関係）

寺尾小学校 学校運営協議会会議録

会 議 の 名 称	第 2 回 寺尾小学校 学校運営協議会		
開 催 日	令和 8 年 8 月 2 8 日（金）		
開 催 時 間	1 3 時 3 0 分 ～ 1 4 時 3 0 分		
開 催 場 所	寺尾小学校 視聴覚室		
議 長	学校運営協議会会長 赤城隆史様		
出 席 者	校長 石井 岳夫 委員 赤城 隆史 橋本 邦子 卷幡 美樹 参鍋 朋代 根本 工 岡田 真一 門間 亜里沙 吉田 浩次 規工川正徳 小島 学 江頭 景子 深山 大作 日高 和子 他本校職員等 全 3 2 名		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0
会 議 の 内 容			
【議題】 ○最初に担当総括教諭より①過去 4 年間のテーマの整理②学校用語の共有③今日の熟議で深めたい視点④熟議の進め方の説明を行った。			
【熟議（主な意見・決定事項など）】 (1)地域の力をどう学びに変え、助け合う関係を築いていくとよいか。 ・「総合・生活科」での地域学習では綾瀬の特産品や農業等を題材に地域と直接関わる学びの場を作るため、商工会議所や地域の人脈を活かして連携したい。 ・外国にルーツを持つ人々との相互理解を促す場づくり（AI 活用や母語支援、生活様式の共有等）や、家庭科の調理実習・理科の実験への地域人材の参画ができるとよい。 ・隣接する綾瀬高校との連携・交流を深め、高校生や先輩をゲストティーチャーとして導入・活用できるとよい。若い力を活用することは、学校や地域にとって大きな資源として期待できる。 (2)見守りと防災の連携を深め、安全・安心な地域を子どもとどう作り出していくか ・自治会未加入世帯の多さ等により防災訓練などの地域活動へ子どもを巻き込むことが難しい点や、避難所としての学校のスペースの狭さが課題である。 ・あいさつ等の日常的な関わりや運動会の準備作業などを通じて、地域との協力関係や関係性を構築できるとよい。			
【配付資料】 ・第 2 回学校運営協議会レジュメ ・次回協議会日程調査票 ・プレゼンテーションソフト資料 ・P T A 広報紙「てんま」168 号			
次回開催予定	第 3 回学校運営協議会は 1 1 月に予定		